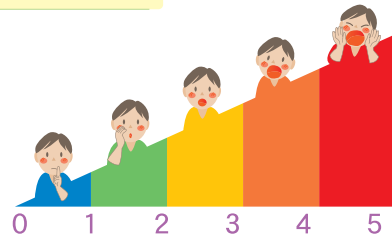


こうはんせいはいはつししょう ひと ひと
広汎性発達障がいのある人とかわる人へ
 ひとつもん
 ~よくある質問~

Q1. 電車の中で大きな声で話します。「人の迷惑になるよ」と言ってもわかってくれません。

あんもく
 暗黙のルールやマナーがわかりにくいので、文章や絵やDVDなど、
 見てわかるように伝えるといいでしょう。その場での適切な声の大きさを
 目で見てわかるように伝えるのも、ひとつの方法です。



Q2. 話の要領が得られず、何を伝えたいのか、わからないことがよくあります。

きりかい
 聞いて理解するよりも、見て理解するほうが得意なので、紙に書いて質問したり説明したりすると、やりとり
 がしやすくなります。コミュニケーション用のノートを用意し、お互いに文字や図・絵などを描きながら伝える
 習慣をつくることも、ひとつの方法です。

Q3. 休憩時間に一人で過ごしています。みんなと楽しく話せるようになって欲しいのですが。

ほんにん
 本人がどのように過ごしたいと思っているのか考えてみましょう。人と話すことが好きな人もいれば、一人で
 過ごすのが好きな人もいます。人と話すことで疲れてしまう人も少なくありません。生活に必要なコミュニケー
 ションを支えつつ、本人がリラックスできる場所や時間を確保することも大切です。

おおさかふしやう しゃじりつそうだんしえん
大阪府障がい者自立相談支援センター
 (知的障がい者支援課)
 〒558-0001 大阪市住吉区大領3丁目2-36
 障がい者医療・リハビリテーションセンター内
 TEL 06-6692-5263 (Fax 06-6692-3981)
 受付時間 午前9時から午後5時45分まで
 (どにちしゆくじつねんまつねんし (土日祝日年末年始をのぞく))
 交通機関
 ① 大阪市バス「府立総合医療センター」下車すぐ
 ② 阪堺上町線「帝塚山四丁目」下車徒歩約10分
 ③ 南海高野線「帝塚山」下車 徒歩約15分
 ④ JR阪和線「長居」下車 徒歩約20分
 ⑤ 地下鉄御堂筋線「長居」下車 徒歩約25分

この印刷物は10,000部作成し、1部あたりの単価は7.2円です。



はつししょう
発達障がいシリーズ③
 平成22年3月発行
 おおさかふしやう しゃじりつそうだんしえん
 大阪府障がい者自立相談支援センター
 (知的障がい者支援課)

とくしゅう こうはんせいはいはつししょう ひと ささ
特集“広汎性発達障がいのある人のコミュニケーションを支える”

こうはんせいはいはつししょう とくせい
 広汎性発達障がいの特性のひとつに
 「コミュニケーションの特性」があります。



ことば おお りゅうちやう
 言葉の多さ、流暢さにかかわらず、広汎性発達障がいのある人は「コミュニケーションの特性」が
 あります。どこで困っているかの適切な理解と、その人に合わせたサポートが必要です。

したいこと、ほしいものを
 自分から伝えられない。

いやなのに断れない。

助けてほしいのに援助を
 求められない。

話がつまらなく、
 うまく説明できない。

みんなとおしゃべりすることが苦手。
 話しかけられていることに
 気づきにくい。

人との距離感がつかみにみにくく、
 気になる人に近づきすぎてしまう。

まわりがわかっているルール、
 マナーに気づきにくい。